

平成23年度 全国保健師長研修会実施要綱

- 1 目 的 地域保健活動における保健師の果たす役割の重要性に鑑み、効果的な保健師活動を展開していくための指導者としての資質の向上を図ることを目的とする。
- 2 平成23年度テーマ
保健婦規則制定70周年を迎え、保健師の専門性を再考する
～リーダー保健師が果たすべき役割～
- 3 主 催 全国保健師長会・千葉県・(財)日本公衆衛生協会・
- 4 後 援 厚生労働省
- 5 日 程 平成23年11月17日(木)～11月18日(金)
- 6 開催場所 三井ガーデンホテル千葉
住所：千葉市中央区中央1-11-1
TEL：043-224-1131
- 7 受講人員 300名程度
- 8 受講資格 (1) 都道府県、保健所設置市及び特別区の保健所に勤務する保健師のうち指導する職にある者
(2) 市町村における保健師のうち指導する職にある者
(3) 全国保健師長会会員
- 9 研修内容等 別途 開催県より案内する

平成23年度全国保健師長研修会プログラム

テーマ「保健婦規則制定 70 周年を迎え、保健師の専門性を再考する～リーダー保健師が果たすべき役割～」

場所：三井ガーデンホテル千葉（3F 平安）

| | | | | | |
|--------------------------------------|---|--|--|--|---|
| <p>11 月 17 日 (木)</p> | <p>9:30 受付</p> | <p>10:00 開 会 リ 式 エ ン テ ー シ ヨ ン</p> | <p>10:30～12:00 【講演Ⅰ】 「保健婦規則制定70年と 今後の保健師の活動への展望」 前 公益社団法人日本看護協会会長 久常節子</p> | <p>13:00～15:00 【リレー対談】 「保健婦規則制定70年を迎え、 さらなる保健師への期待」 社団法人 全国社会保険協会連合会 理事長 伊藤 雅治 東京大学高齢社会総合研究機構 教授 辻 哲夫 高知県中央東福祉保健所 所長 田上 豊資 千葉県健康福祉部 保健医療担当部長 井上 肇 熊本市長 幸山 政史 コーディネーター 千葉県健康づくり支援課副技監 岡田 和子</p> | <p>15:15～17:15 【シンポジウムⅠ】 「時代の変遷の中での保健師の専門性を再考する ～ふみしめて 50 年を経てから現在までの軌跡～」 厚生労働省健康局総務課保健指導室 室長 尾田 進 公益社団法人 日本看護協会 常任理事 井伊 久美子 全国保健師教育機関協議会 会長 東京大学大学院 教授 村嶋 幸代 全国保健師長会 会長 横浜市南福祉保健センター長 大場 エミ 座長 千葉県健康部技監兼健康支援課長 窪田 和子</p> |
| <p>11 月 18 日 (金)</p> | <p>9:30～12:00 【講演およびシンポジウムⅡ】 「実践活動を振り返り、公衆衛生看護、保健師資格の重要性を再考する」 講演およびコーディネーター 東北大学大学院 教授 平野 かよ子 ①母子保健分野 埼玉県朝霞市健康づくり部 次長 菅田 恵子 ②生活習慣病予防分野 新潟県上越市生活習慣病予防対策室 主任 長澤 由美 ③高齢者保健福祉分野 千葉県銚子市地域包括支援センター 保健師長 安藤 智子 ④精神保健福祉分野 東京都世田谷区玉川総合支所 健康づくり支援課係長 遠藤 厚子</p> | | <p>13:00～15:20 【シンポジウムⅢ】 「全国の保健師のここを一つに ～東日本大震災で、全国の保健師は何に苦悩し、どう活動したか～」 ①被災自治体保健師の立場から 岩手県大船渡保健所 上席保健師 花崎 洋子 宮城県南三陸町地域包括支援センター 上席技術主幹兼主任 高橋 晶子 ②被災地支援自治体保健師の立場から 山口県健康増進課 主幹 西生 敏代 ③被災地支援自治体保健医療専門職派遣統括者の立場から 東京都福祉保健局 保健政策部長 前田 秀雄(予定) ④災害時医療の立場から 日本老年学会災害時の高齢者医療研究班東日本大震災医療団長 東京大学大学院医学研究科加齢医学講座 講師 飯島 勝矢 座長 千葉大学大学院 教授 宮崎美砂子</p> | <p>15:20 ～ 15:30 閉 会 式</p> | |